

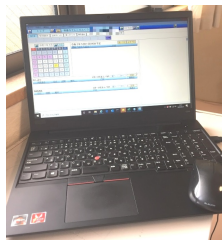
— 令和元年度 事業報告 —

2019.04.01-2020.03.31

1 『働き易い』環境の整備

①月に1度、職員が職場の環境パトロールを行っています。その項目に『ハラスメント』を追加し、職場ハラスメントの撲滅を行いました。

②業務改善を目的に介護ソフトの変更、新PC32台の購入、施設内無線化の準備、職員の働き易い環境を整備しました。



▶新PCは高性能で快適!

2 職員のスキル可視化と人材育成

①令和元年度より、なでしこりんくう独自に身体介護・食事介助等の新人研修を4月3・4・5日の3日間にかけて実施し、職員の資質向上と人材育成を行いました。

②特養において1年間かけて、施設内にて研修を実施し、痰吸引の資格を持った介護職員を新たに4名育成しました。

③デイサービス、障害福祉サービスにおいて、重度の利用者に対応できるよう介護員が利用者様に安全に喀痰吸引が行える体制を整えました。

④介護業務についての説明会を7月～8月に4回、2月～3月に4回開催し、7名の参加がありました。

⑤個々の目標を明確にし、スキルアップに繋げる為、全職員を対象としたラダー制度の導入に向けて準備を進めました。



▶移乗方法の研修風景

3 法令遵守と各事業所の健全性確保

①事業計画に基づき、各事業所の報告、予算管理と収支の理解を運営会議にて行いました。

②年度初めに全職員対象に法令遵守と事業計画の研修を実施しました。

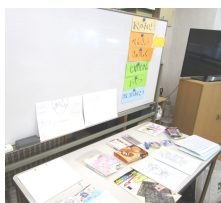
③5月7日、12月6日に大阪府済生会監事による内部監査、12月13日に監査法人トーマツによる法定監査を実施しました。

④消費税の増税に伴い、課税、非課税項目を再確認し、課税対象の利用料を変更しました。

4 地域貢献事業の充実

①生活困窮者11名に対して、当施設独自の経済、生活支援を行いました。

②泉南市保育子ども課と協力し、児童に対して食事提供と学習会を開催、延べ57名もの利用がありました。大学生のボランティアの参加も募り、また施設行事に児童と一緒に参加して頂き、高齢者との交流も図りました。



▶学習会教材

5 事業の透明性の確保

①広報誌へ事業計画、事業報告を掲載しました。

②平成31年4月よりホームページが新しくなりました。行事や広報誌等の掲載方法がさらに容易となり、外部に向けての透明性確保に繋がりました。



▶新ホームページ トップ画面

6 災害対策の充実

①特養版BCP（事業継続計画）を作成しました。

②4月、10月にセンター合同消防訓練を実施しました。

③11月に家族会合同にて、津波を想定した防災訓練を実施しました。訓練前には、泉南市総合政策部危機管理課 課長 木津西様にお越し頂き、災害の備えについて講演を行って頂きました。また管理栄養士による備蓄食の説明、試食も行いました。



▶消火練習



▶備蓄食 試食会



▶「災害への備え」講演風景



▶搬送練習

7 リスクマネジメントの強化

①特養において、介護員、介護支援専門員、相談員等多職種が集まる入所前会議にて、入所後の転倒や転落、その他リスク軽減に向けての内容を重点化し、事故防止に繋がりました。



▶入所前会議の様子